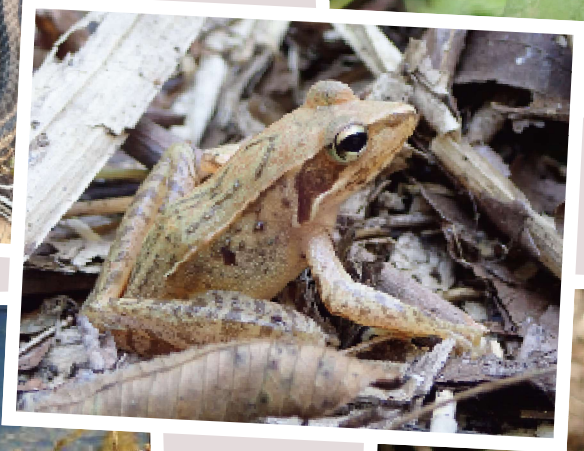


# 神戸で夏の | 2025 | 生きものさがし 夏休み生きものクエスト

けっ か はっ びょう  
結果発表



こうべし ろっこうさん さとちさとやま せとないかい かせん ちしょう ゆた しぜん  
神戸市には、六甲山や里地里山、瀬戸内海や河川・池沼など、豊かな自然があり、  
その中でさまざまな生きものが暮らしています。

ことし しみん みな さんか ちょうさ  
今年も市民の皆さんに参加いただき、スマホアプリを使った生きもの調査を行いました。

どのような生きものが見つかったでしょうか。

ちょうさほうほう

## 調査方法

こんかい ちょうさ み まわ しゃしん さつえい どうこう じぶん  
今回の調査は、身の周りの生きものの写真を撮影、投稿することで自分だけの

コレクションを作るアプリ「Biome」を利用しました

さつえい なまえ なまえはんてい どうこうしゃ おし  
撮影した生きものの名前を「名前判定 AI」が投稿者に教えてくれます。

と お あつ ちょうさ けんきゅう ちきゅうじょう  
アプリを通して集められたデータは、調査や研究など、地球上の生きものや

かんきょう まも かつどう  
環境を守る活動に活かされています。

※Biome（バイオーム）は株式会社バイオームが開発運営するアプリです。

## クエスト

こんかい ちょうさ みな たの ようい  
今回の調査では、皆さんに楽しみながら生きものをさがしてもらうため、クエストを用意しました。

さとやま がいらいしゅ あつ しゅるい たいしゅう  
里山の生きもの・外来種・花に集まる生きものの15種類を対象としました。

たいしゅうしゅ  
【クエスト対象種】

さとやま  
里山の生きもの : キリギリス、コクワガタ、ニホントカゲ、ヤマトタマムシ、ハグロトンボ、  
ミンミンゼミ、カブトムシ

がいらいしゅ  
外来種 : ツヤハダゴマダラカミキリ、クビアカツヤカミキリ、ヌートリア、  
ナガエツルノゲイトウ

あつ  
花に集まる虫 : ツヤアオハナムグリ、ニホンミツバチ、セイヨウミツバチ、ベニシジミ

たっせいじょうけん  
【クエスト達成条件】

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| さとやま<br>・里山の生きもの | しゅるいどうこう<br>2種類投稿 |
| がいらいしゅ<br>・外来種   | しゅるいどうこう<br>1種類投稿 |
| あつ<br>・花に集まる虫    | しゅるいどうこう<br>1種類投稿 |

どうこう けん たいしゅうしゅ けん がぞう さつえいばしょ せいり  
投稿された552件と対象種356件の画像の撮影場所を整理し、

せいそく せいいく はあく かつよう  
生きものの生息・生育エリアの把握に活用します。

## クエスト結果

ちょうさきかん  
調査期間

2025年

6月1日～8月31日

どうこうけんすう  
投稿件数

けん  
552件

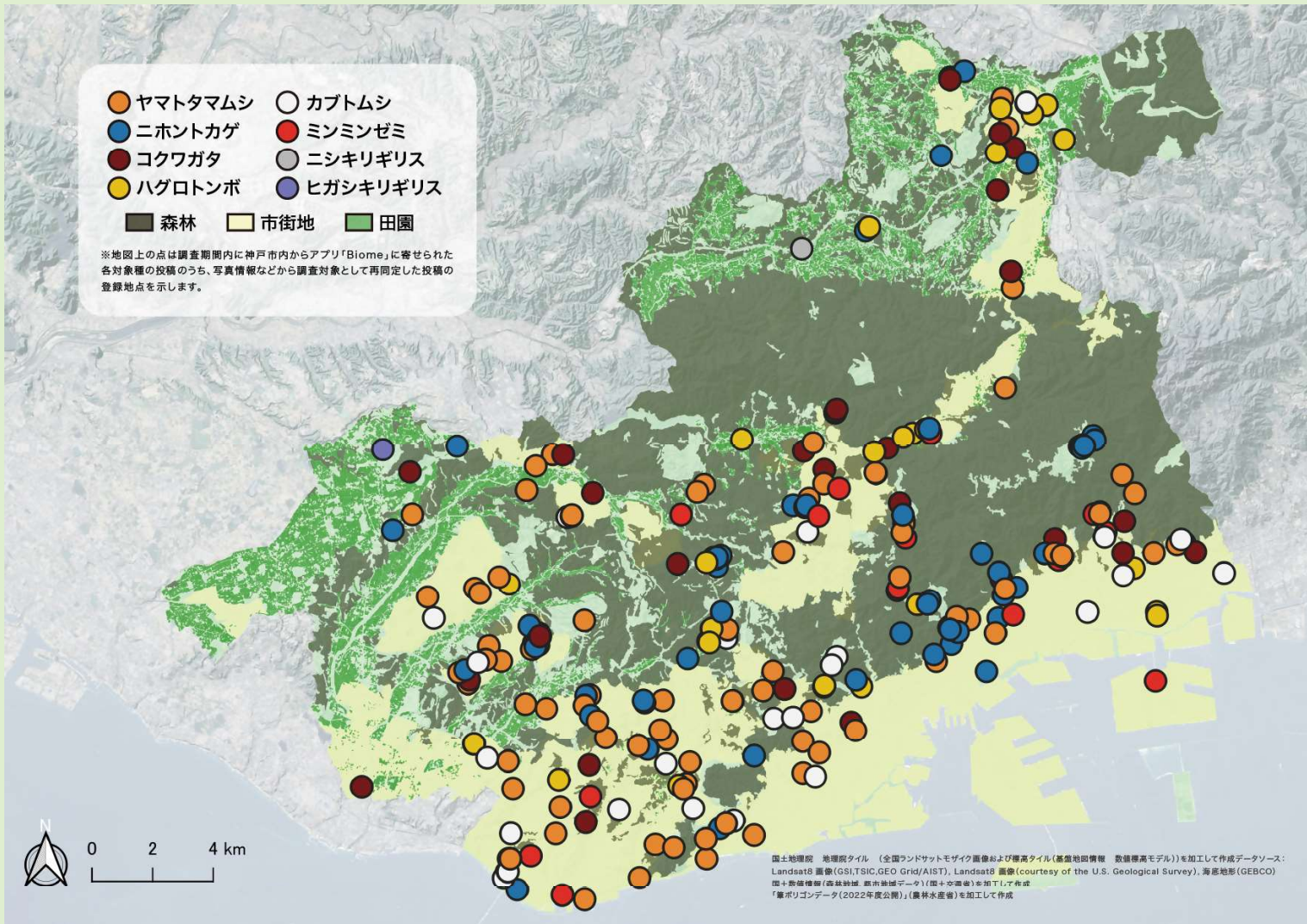
たっせいしやすう  
クエスト達成者数

にん  
4人

さんかしゃすう  
参加者数

にん  
257人

# ●里山の生きものの



さとちさとやま のうぎょう りんぎょう いとな しぜん かか しぜんかんきょう  
**里地里山とは農業や林業などの人の営みと自然が関わり合うことで生み出された自然環境のことです。**  
 はたけ のうち ぞうきばやし さまざま かんきょう あつ こゆう  
**田んぼや畑などの農地、ため池や雑木林など、様々な環境が集まるこのエリアには、固有の生きものが**  
 せいそく げんざい としか のうぎょう りんぎょう にな て ぶそくどう さとちさとやま かんり  
**多く生息していました。しかし現在、都市化や農業・林業の担い手不足等により里地里山が管理されず**  
 こうはい く すく  
**に荒廃し、そこに暮らす生きものたちも少なくなりつつあります。**  
 ちょうさ え けっか さとちさとやま ほぜん とりく やくだ  
**この調査で得られた結果は、里地里山を保全していく取組みに役立ってます。**

とうこうすう

## 投稿数

ニシキリギリス



1 件

ヒガシキリギリス



1 件

コクワガタ



36 件

ニホントカゲ



61 件

ヤマトタマムシ



©たつき=0918

102 件

ハグロトンボ



©Moso193

28 件

ミンミンゼミ



©きいくたい

19 件

カブトムシ



©もどくんZ

30 件

ニホントカゲのように人の住む環境に比較的近い場所で見られる生きもの、カブトムシやタマムシ、コクワガタといった広く知られている甲虫類は多くの投稿がありました。カブトムシやコクワガタは雑木林の樹液に集まるといった生態が知られていること、タマムシのキラキラした姿は目に留まりやすく投稿数が伸びたのかもしれませんが。

ハグロトンボが水辺をヒラヒラ羽ばたく様子やミンミンゼミが鳴く様子は姿こそ見るものの、両種は警戒心が強く、飛ぶ能力も高いため、写真に収めるのが難しかったのかもしれませんが。

キリギリスは鳴き声こそ聴けど普段は藪に隠れており、たとえ見つけてもすぐに逃げていくため、投稿数が少なくなったのかもしれませんが。キリギリスはタマネギを糸の先に付けて草むらに投げると釣ることもできるので、興味がある人は挑戦してみてください！

## KOBE 里山自然共生センター

神戸市には自然豊かな山林があり、北区の山林は神戸市を中心にボランティアや市民団体が管理しています。2024年8月には神戸市北区の里地・里山が「OECM※」として国連が管理する国際データベースに登録されました。

この里地・里山にボランティア団体の活動や見学・体験の拠点となる「KOBE 里山自然共生センター」が2025年11月にオープンしました。

### ▼KOBE 里山自然共生センター



※OECM：国立公園などの保護区以外で、民間等の取り組みにより生物多様性が保全されている区域

### ▼内部の様子



# ●外来種






## ツヤハダゴマダラカミキリ



©どすこいパイナポー

けん  
7件

### ツヤハダゴマダラカミキリ[外来種] と ゴマダラカミキリ[在来種]の見分け方

ツヤハダゴマダラカミキリ		ゴマダラカミキリ	
	ない	棘(とげ)がある頭の 下部分に白い模様がある	
	ない	翅(はね)の付け根 部分に白い模様がある	
	ツルツル	はねの付け根部分が ザラザラ	

ツヤハダゴマダラカミキリは過去の調査でも見つかっている六甲アイランドの中でのみ見つかりました。2024年の調査では灘区でも投稿がありました。すぐに被害を受けた木の対策を行ったため、被害エリアは広がっていません。

2022年から継続して調査していますが、投稿件数が少しずつ減ってきています。

神戸市が2025年6月から8月の間に六甲アイランド島内に設置していたカミキリポストでも、ツヤハダゴマダラカミキリの投函された数は減ってきています。

## クビアカツヤカミキリ



▼クビアカツヤカミキリのフラス  
(幼虫のフンと木くずが混じったもの)



©ゆういちる

けん  
2件



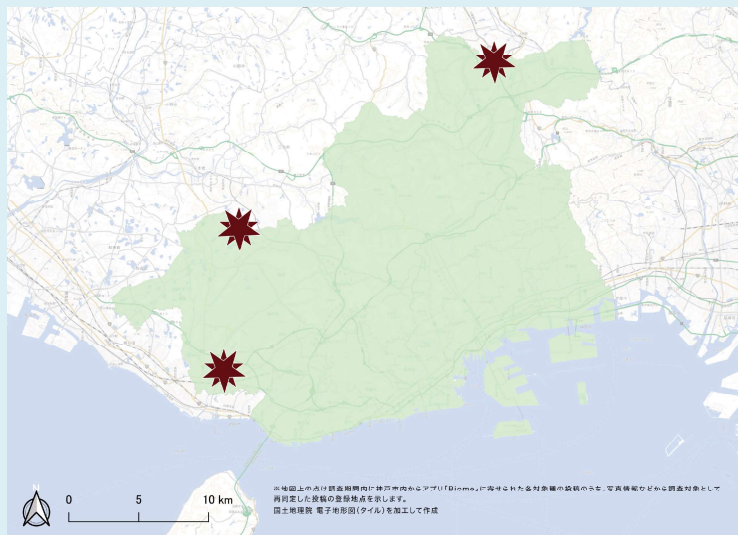
クビアカツヤカミキリは昨年度の投稿数は3件でしたが2件となりました。これは北区の一部などで本種の被害が拡大していることが投稿数に表れているのかもしれませんが、投稿のあった場所周辺は神戸市が調査し、被害が確認されたら速やかに対策しています。今後も成虫や被害を受けた木を見つけたら神戸市へ連絡をお願いします。

# ヌートリア



©にしのもぐら

けん  
3件



ヌートリアは大型のネズミの仲間、水辺にも生息する特定外来生物です。神戸市内でも西区や北区に定着しています。

食欲が旺盛で、農作物や希少な水草が食べられることで水辺の生態系に影響を与えてしまう心配があり、神戸市でも年間100頭程度を駆除しています。

# ナガエツルノゲイトウ

▼神戸市内の河川に繁茂したナガエツルノゲイトウ



けん  
0件



ナガエツルノゲイトウは河川やため池、田んぼに入る特定外来生物です。

神戸市では侵入しているエリアが狭いこと、水辺に生育するため写真の撮影がむずかしいことなどの理由から投稿数が0件だったのかもしれませんが。

放置すると水路を詰まらせたり稲の成長を邪魔するなど、影響の多い生きものです。

ナガエツルノゲイトウは特に繁殖力が高く、根絶が困難なことから「地球上で最悪の侵略的植物」とも呼ばれており、神戸市でも対策を進めています。

## LINE 通報

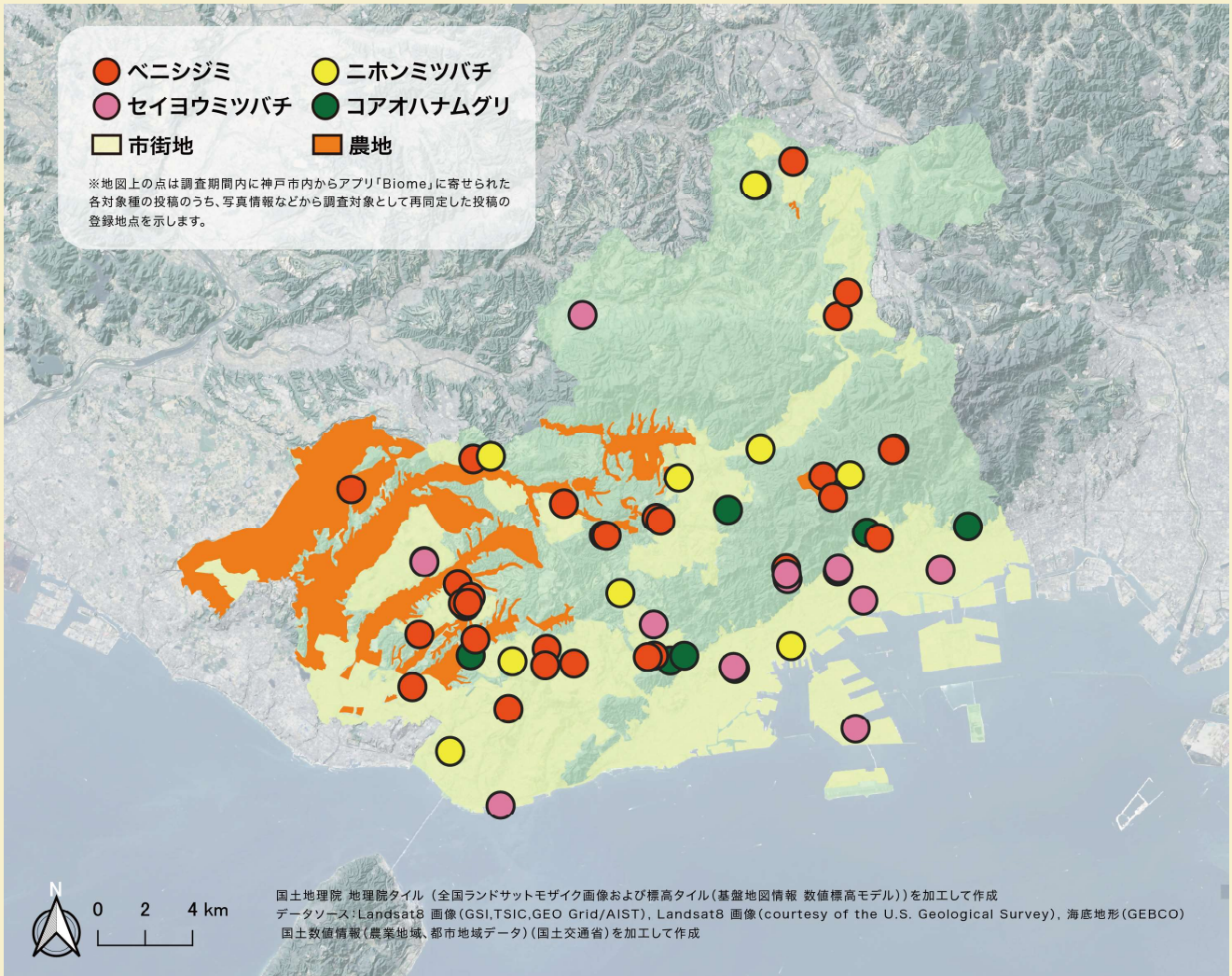
神戸市では特定外来生物の目撃情報を公式LINEで募集しています。

通報内容は職員が確認し、現地調査や対策を実施しています。

右の二次元コードから神戸市公式LINEを友達追加し、通報してください。



# ●花に集まる虫（ポリネーター）



ミツバチに代表される花に集まる生きものはポリネーターと呼ばれ、  
 植物の受粉を助ける役目を担っています。  
 特にセイヨウミツバチは農作物の受粉を助ける目的で人の手によって自然に放たれた生きもので、  
 生物多様性への大きな影響は確認されていませんが、外来種です。  
 これらポリネーターは神戸市内では市街地から農地まで、各地に生息が確認され、  
 生態系全体を支えています。

## 投稿数

コアオハナムグリ  
 7件



ニホンミツバチ  
 14件



セイヨウミツバチ  
 12件



ベニシジミ  
 33件



# ポリネーターによって得られる恩恵

植物の受粉の手助け：

農作物の花を訪れることで花粉が運ばれ、果実や野菜が実を結びます。

これにより、農作物の収穫量が増えます。

生物多様性の維持：

ポリネーターの活動は、農作物だけでなく野生植物の受粉にも貢献し、

植物の多様な生態系の維持に役立っています。

都市環境への貢献：

近年では、都市緑化の推進においてもポリネーターの存在が注目

されており、環境面での貢献も期待されています。

## 外来生物展示センター

神戸市には外来生物に関わる問題について「感じる・知る・考える」

場である日本唯一の公的施設の「外来生物展示センター」

があります。（見学無料、要予約、土日開館）

飼育が禁止されている特定外来生物を間近に観察できる「生物飼育棟」や、

はく製や標本を展示している「展示ホール」があります。

また、2025年8月にはアース製薬（株）の協力のもと、「昆虫室」をオープンしました。

外来昆虫だけでなく、衛生昆虫の生体や標本をわかりやすい解説パネルと共に見ることができます。

見学の予約はホームページより受付中です。

▼ホームページ

